

平成30年度 医療情報の理解促進に関する研修会 アンケート結果

■開催日時:平成31年2月8日(金曜日)15時～17時

■テーマ:ACP(アドバンス・ケア・プランニング)のすすめ方
～その人らしく意思決定するために

講師:東京慈恵会医科大学附属柏病院総合診療部診療部長

三浦 靖彦氏

■開催場所:東京都健康プラザ「ハイジア」研修室

■参加者:118名(うちアンケート回答者110名)

(回答者内訳:看護師70名、MSW28名、事務5名、

その他5名、未記入2名)

I 都民(患者・家族)への説明が難しいと感じること(複数回答可)

- | | |
|-------------|------|
| ①医療機関の機能分担 | (56) |
| ②医療費・その他の経費 | (30) |
| ③介護保険施設 | (22) |
| ④介護保険制度 | (18) |
| ⑤在宅療養 | (23) |
| ⑥その他 | (8) |

- ┌ 医療者との関係
- └ 他職種(医師)との連携

II 今後の「理解促進に関する研修会」で取り上げて欲しいテーマ

- 施設での看取りについて
- 看取りのケアについて
- 元気で長く生活を続けるための取り組みについて
- 認知症をもつ患者が地域で安全に暮らせるために
- DNR、DNARの理解。使用しない方針になっている場合は、どうカルテに表記するべきか。
- 医師との連携。医師が治療を継続するような話し方、選択できない。上手に医師と関わる方法。
- 医療行為(栄養方針)の決定
- 胃ろう作成についての情報提供
- 緩和ケア
- 具体的な話し合いの内容、経過
- グリーフケア
- 在宅療養支援、難病支援について
- 様々な具体例、入院、地域、診療科別の話も聞きたい。(精神科、認知症病棟等)
- 社会資源の内容、利用の仕方など。退院支援、地域と病院の関わり方など
- 多剤処方苦情を受けることがあり、患者側の医師との接し方、質問の仕方等
- ナラティブは必要であり、勉強もしましたが、再度研修として取り上げて頂けると嬉しいです。